

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	290100015		
法人名	株式会社 荒内工務店		
事業所名	グループホームみずばしょう苑		
所在地 (電話番号)	〒030-0921 青森県青森市原別5丁目7番2号 (電話) 017-736-7250		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 7月 15日	評価確定日	平成 20年 9月 2日

【情報提供票より】(平成 20年 6月 30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 18年 5月 17日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 15人, 非常勤 人, 常勤換算	15人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	22,500 ~ 冬期24,500 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 200 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(6月 30日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	4 名	要介護2	4 名
要介護3	3 名	要介護4	7 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢 平均	85 歳	最低	76 歳
		最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	浪打病院、おさないクリニック、とき歯科
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>地域活動等に積極的に参加し、地域の中で地域の住民としてとけ込み、地域との交流がなされている。また、事業所内でも活気に満ち溢れ、居心地の良さを感じた。職員も家族の一員のような接し方で笑顔が絶えない雰囲気であった。時間に追われる感じもなく、自然に時間が過ぎていくようであった。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>2つの棟が共有できるものを共有し理念の実現に向け取り組んでいる。家族等が発言しやすいように日頃から、こちらから話掛けるよう心がけている。また、家族と共に課題等話し合う機会を多く持つよう努めている。介護計画に関しては全職員が共有し、サービスの質の向上に向け取り組む事を期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で自己評価に取り組む評価の意義を理解し、サービスの質の向上に活かしている。また、改善等は直ぐに検討し改善に向け取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>地域の方々や利用者、家族とサービスの質の向上に対する活発な意見のやり取りがなされている。また、それを職員間で検討し、日々のサービスの向上に活かしている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>日頃から信頼関係を築き、面会時等家族から意見が伺えるよう努めている。また、その意見等には直ぐに対処している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の一員として町内の行事に参加し、散歩や外出時には声がけを心がけ地域との交流が積極的に行われている。今後、地域への貢献として認知症普及活動や勉強会等開催する事を期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な環境を大切にし、地域密着型サービスの意義を十分理解し理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティング時に理念を確認している。また、掲示も工夫され全職員が共有し、理念の実践に向け日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の一員として、町内の様々な行事に参加している。また、散歩等で挨拶や声かけ等をし、気軽に立ち寄ってもらえるよう努めている。		今後、地域への認知症普及活動や勉強会等を開催出来るよう色々な機関と協議し、地域への貢献に期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>全職員が評価の意義を理解し、サービスの質の向上に活かしている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議では、評価の報告及び、行事やサービスの内容等も報告している。また、町内からの要望等を聞き、双方で意見交換ができるようにしている。利用者及び家族の参加も有り、サービスへの活発な意見交換がなされ、それをサービスの質の向上に活かしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>自己評価及び外部評価の結果を報告している。また、地域包括支援センターとの意見・情報交換がなされ、サービスの質の向上に日々取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>学習会を開催し、理解に努めている。またマニュアルも作成している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>学習会等を通じて理解への浸透に努めている。特に新しい職員に対しては、理解を深められるように努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書及び重要事項説明書について項目ごとに十分説明し、理解と納得が得られるようにしている。		
10	12	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、苑便りや本人の様子の手紙を送付している。また、面会時等でも報告をしている。健康状態や生活状態に変化が生じた場合は、その都度報告している。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議等で家族から意見が活発になされ、職員は常に家族からの意見に耳を傾け、それらの意見を運営に反映している。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の異動等はケースによりあるが、利用者が不穏にならないように利用者、職員共にユニット間の行き来があり、馴染めるよう配慮している。また、ユニット間の職員の異動はない。職員の入替えの際は利用者が不穏にならないようにきちんと紹介し、顔なじみになれるよう十分配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会を開催したり、外部研修会への参加を積極的に行っている。また、個々で目標を持ち管理者、職員が互いに目標達成できるよう努めている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	連携するグループホーム職員と困難事例の検討会を実施している。また行事等にも互いに行き来し、交流を図っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用する際は出来るだけ本人が納得されるように、ご本人に見学してもらっている。また、体験利用もでき、馴染めるように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と一緒に過ごしコミュニケーションを多くとる事を大切にしており、共に行動し、共に楽しみ、信頼関係を築けるように心がけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人との対話を多く持ち、思いや意向を把握している。家族からの意見、意向も確認している。また、自由に意見や希望が言えるよう雰囲気作りに努めている。</p>		
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎月カンファレンスを開催し、話し合いがなされている。また、日ごろから本人の意向や家族の意見を聞き介護計画に反映させ作成している。</p>		<p>ケース記録は個々の様子が十分わかるように、記録されているが、介護計画に即して記録出来るように工夫をし、全職員が介護計画を共有し日々のサービスに向け取り組むよう期待したい。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>個々のプランの期間での見直しを行うと共に、毎月職員会議の場で利用者全員分のカンファレンスも開催しており状態に応じその都度の見直しも行っている。面会時や電話で家族等からの意向も確認しており、カンファレンスやプラン作成の材料となっている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>移送、外出・外泊支援等柔軟に対応し、支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者及び家族が希望するかかりつけ医を受診出来るよう支援している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族に24時間完全看護体制でない事を理解して頂き、早い段階で本人及び家族、医療機関と話し合い、全員で方針を共有している。また、現在、ターミナルケアに関して協力医及び関係機関と協議し前向きに取り組めるよう努めている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りやプライバシーを損ねないように、職員間で常に意識し、注意しながら対応している。個人情報の取り扱いにも十分注意している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースや希望、身体状況に合わせ柔軟に支援出来るよう努めている。また職員の方が利用者と一緒に行動するよう心がけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々の会話の中で利用者へ嗜好の聞き取りを行ったり、可能な限り利用者と職員と一緒に食事の準備や後片付けを行っている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調を考慮し、希望に合わせて入浴出来るよう支援している。また、足浴(コミュニケーションを楽しみながら)を毎日実施、安眠できるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の楽しみを理解、把握し、楽しく過ごせるよう支援している。外出の機会を多く持ち、散歩やドライブ、買い物等で気晴らし出来るよう努めている。また、個々の出来る力を把握し、家事に協力して頂いている。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出の機会を多く持ち、一人一人の希望に沿って外出出来るよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し、また外部研修及び内部研修を開催し、学習の機会を設け理解し、拘束のないケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	町内会からの要請により、防犯上の問題から昼夜ともに玄関に鍵をかけてあることを利用者及び家族に説明し理解して頂いている。利用者が外出を希望する際はその都度対応している。また、外に出たい素振りにも対応し、外出できるように支援している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練を実施している。また、避難訓練の際は地域の方々にお知らせし、地域の人々に協力を得られるよう働きかけている。運営推進会議でも地域の方々の協力が得られようお願いしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態や力を把握し、その人に合った食事が提供出来るよう支援している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成している。また、手洗いとうがいを徹底し、予防注射を実施している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の手作りの物を飾ったり、季節毎に装飾を変えたりと心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家庭で使い慣れた物を持ちこんでもらう等、居心地良く過ごせるよう、本人家族と相談し、対応している。</p>		

 は、重点項目。